



しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

<再処理工場の運転員による重大事故訓練>

1. はじめに

運転員は、万が一の重大事故等に備え、事故の拡大を防ぎ、地域の皆さまへの影響をできる限り小さくするため、一年を通じて様々な訓練を繰り返し行っています。

2. 水素爆発・蒸発乾固を想定した訓練（7/13～27）

7月は運転員約350名※が参加し、地震により外部電源や非常用ディーゼル発電機が使用できなくなった時に、汚染防護服や酸素呼吸器を装着し、設備の損傷状況やアクセスルートが使えるかの確認に向かう初動対応訓練と、水素爆発や蒸発乾固の重大事故の同時発生を想定した拡大防止訓練を実施しました。

※当直班毎に5回実施した総数

[初動対応訓練]



汚染防護服や酸素呼吸器を装着する様子



設備の損傷状況やアクセスルートが使えるか確認に向かう様子

[拡大防止訓練]



放射性物質を建屋の外に出さないよう、空気の流れを遮断する弁を閉止操作する様子



放射性物質を建屋の外に出さないよう、空気の流れを遮断するダンパを閉止操作する様子

地域の皆さまにご安心していただけるよう、「昨日より今日、今日より明日」と安全性を高める努力を怠らず、当社社員、グループ会社、協力会社が一丸となって取り組んでまいります。